

特別展「徳川十五代将軍展～国宝・久能山東照宮の名宝～」

開催概要

1 名称：特別展「徳川十五代将軍展～国宝・久能山東照宮の名宝～」

2 趣旨：

久能山東照宮は、徳川家康を「東照大権現」として祀る全国の東照宮の中で、最も古い由緒を持つ。江戸幕府を開き、泰平の世の礎を築いた家康は、元和2年（1616）に駿府城で75年の生涯を閉じ、亡骸は遺言によってその日のうちに久能山へ移された。久能山東照宮には、家康所用の甲冑や晩年の日常生活で使用した品々が奉納されている。

その後、江戸時代を通じて将軍家より厚い崇敬を受けた同宮には、歴代将軍が奉納した武具のほか、歴代将軍直筆の書画類などの美術工芸品が数多く所蔵されており、15代将軍全ての甲冑が揃って伝来している点は特筆される。

本展では、久能山東照宮が所蔵する貴重な宝物から選りすぐりの名品を一堂に展示し、江戸時代の武家文化の精髓を紹介する。

3 主催：「徳川十五代将軍展」仙台展実行委員会（仙台市博物館、t b c 東北放送、河北新報社）

4 特別協力：久能山東照宮

5 企画協力：福岡市博物館 堀本一繁 氏

6 協力：静岡鉄道 日本平ロープウェイ

7 協賛：日本通運株式会社、株式会社みずほ銀行、富士通株式会社

8 後援（予定）：

毎日新聞仙台支局、朝日新聞社仙台総局、読売新聞東北総局、産経新聞仙台支局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、NHK仙台放送局、仙台放送、ミヤギテレビ、k h b 東日本放送、エフエム仙台、仙台シティエフエム ラジオ3、IBC岩手放送、テレビユー山形、テレビユー福島

9 会期：令和7年9月12日（金）～11月9日（日） 開催日数 52 日

※前期：9月12日（金）～10月5日（日）

後期：10月7日（火）～11月9日（日）

※休館日 毎週月曜日（9/15・22、10/13、11/3をのぞく）、9/16・24、11/4

10 会場：テーマ展示室Ⅰ、企画展示室、コレクション展示室Ⅱ

11 観覧料：一般 1,600 円（前売 1,400 円）、高校・大学生 1,300 円（当日のみ）、

小・中学生 900 円（当日のみ）

※10名以上の団体は、当日料金より各 100 円引き

12 主な展示資料： ※会期中展示替あり

重要文化財 金陀美具足 徳川家康所用（附 梨子地三葉葵紋牡丹唐草金蒔絵具足櫃）、
重要文化財 齒朶具足 徳川家康所用、金扇馬標 徳川家康所用、
重要文化財 太刀 切付銘 妙純傳持、ソハヤノツルキ／ウツスナリ 無銘 三池光世作、
重要文化財 洋時計 スペイン・マドリッド製 ハンス・デ・エバロ作、
紺糸威鎧 兜・大袖付 8代将軍 徳川吉宗所用
（ほか、2～15代の歴代将軍所用具足 計 14 領を展示）、
国宝 太刀 銘 真恒 附 黒塗葵紋蒔絵刀箱 2代将軍 徳川秀忠奉納、
枯木鼻図 3代将軍、徳川家光筆、一行書「発必中」 15代将軍 徳川慶喜筆
※以上、すべて久能山東照宮蔵

13 関連展示：

展覧会開催に伴い、当館特集展示室にて関連展示「徳川家と伊達家」を開催する。

会期：9月2日（火）～11月3日（月・祝）

14 関連イベント等：

(1) 記念講演会 ※事前申込制・聴講無料。申込者多数の場合は抽選。

日時：9月13日（土）13：30～15：00（13：00 開場）

講師：落合 偉洲 氏（久能山東照宮名誉宮司、久能山東照宮博物館館長）

会場：博物館ホール（定員 200 名）

※往復はがきまたは、せんだいオンライン申請サービスによる申込受付を予定。

(2) しろ・まち講座 ※事前申込制・聴講無料。申込者多数の場合は抽選。

日時：10月4日（土）13：30～15：00（13：00 開場）

講師：当館職員

会場：博物館ホール（定員 200 名）

※往復はがきまたは、せんだいオンライン申請サービスによる申込受付を予定。

(3) 「まちなか博物館講座」〈東北工業大学と共催〉

第 17 回「特別展 徳川十五代将軍展～国宝・久能山東照宮の名宝～」に関連した講座

日時：令和 7 年 9 月 27 日（土）13:30～15:00

講師：小田嶋なつみ（当館学芸員）

会場：東北工業大学地域連携センター「テクロビ」（オンライン同時配信）

このほかミュージアムセミナー、友の会広報セミナー、プレイミュージアムイベントなどを予定。